

## II 事業報告

### 2 実践事業

#### (4) 公衆衛生医師就業実態調査

早川貴裕（栃木県保健福祉部）

高橋千香（東京都世田谷保健所）

宮園将哉（大阪府岸和田保健所）

高橋 宗康（帝京大学大学院公衆衛生学研究科）

宗 陽子（長崎県県央保健所）

#### 要約

行政機関に勤務する公衆衛生医師の確保は全国的な課題であるが、自治体によりその状況は大きく異なる。公衆衛生医師の確保・定着のためにアプローチが必要な領域や離職防止に効果的な方策等を検討するため、行政機関に従事する医師の入離職動向等を分析することとした。

平成 22 年から令和 4 年までの 7 回分の医師届出情報を入手し行政機関に従事する医師の人数、基本的属性（性別、年齢）、入離職の状況を把握したところ、特に入職の動向は近年変化してきており、全体としては 30 代前半や 50 代後半以降の入職が増加していること、また、男女によってそのパターンに差異があることが明らかになり、入職のリクルートメント活動には対象となる医師にとって適切なタイミングや状況があることが伺えた。

今後も、行政機関で従事し続ける医師や入離職する医師のバックグラウンド等について詳細な分析を行い、行政機関に従事する医師の確保・定着に向けた取組の検討に活かせる基礎資料づくりを進めていく。

#### 1) 目的

- ① 医師届出情報を用いて行政機関に勤務する公衆衛生医師の経時的な入離職動向を把握する。
- ② ①を踏まえて公衆衛生医師の確保や定着にアプローチが必要な領域や離職防止に効果的な方策等を検討する。

#### 2) 方法

厚生労働省に医師届出票情報の提供の申出を行い、平成 22、24、26、28、30、令和 2 及び 4 年の 7 回分の全国の医師届出票情報の提供を受けた。

行政機関における勤務の有無については各年の医師届出票における「従事している施設及び業務の種別」の項目が「行政機関の従事者」であるか否かで判断した。入離職の判定に当たっては、連続する 2 回の届出票情報を比較し、行政機関以外の機関から新たに行政機関に異動した医師を「入職」、行政機関から行政機関以外の機関に異動した医師を「離職」とした。

今年度は、各届出年に行政機関に勤務している医師及び上記の判定に基づく入離職した医師について、その属性（年齢、性別）と経年変化を分析した。

#### 3) 結果

平成 22、24、26、28、30、令和 2 及び 4 年の医師届出票のデータ件数はそれぞれ 295,049 名、303,268 名、311,205 名、319,480 名、327,210 名、339,623 名、343,275 名であり、一貫して増加していた（表 1）。各届出年における行政機関の従事者数（女性を 1 とした時の男女比）はそれぞれ 1,669 名 (2.33)、1,688 名 (2.17)、1,661 名 (2.15)、1,740 名 (2.19)、1,835 名 (2.00%)、

1,805名（1.97）、1,856名（1.94）であり、実数は増加傾向にあり、男女比は低下傾向にあった（図1、表1）。

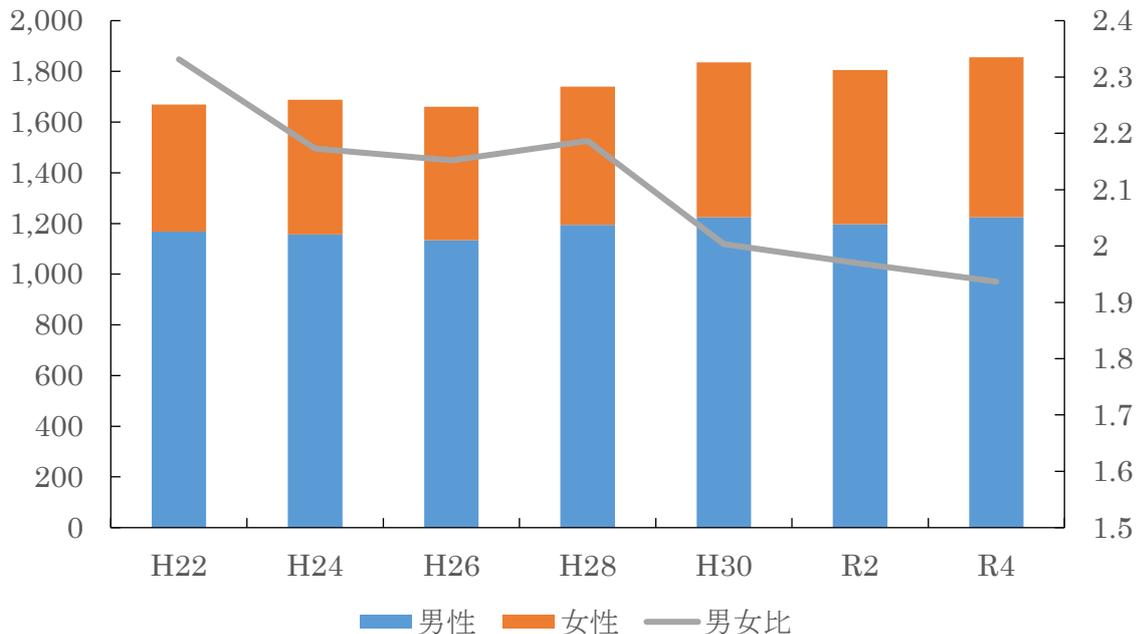


図1 行政機関に従事する医師数（単位：名）及び女性を1とした場合の男女比

行政機関に従事する医師の年齢構成を見ると、平成22年から平成26年にかけては50代が多い年齢階級であったが、平成28年以降は50代後半や60代前半が増えており、60代後半から70代前半の増加も目立った。また、平成30年以降は30代前半の増加が顕著であった。一方で、40代後半から50代前半の医師数は概ね減少傾向にあった（図2、表1）。

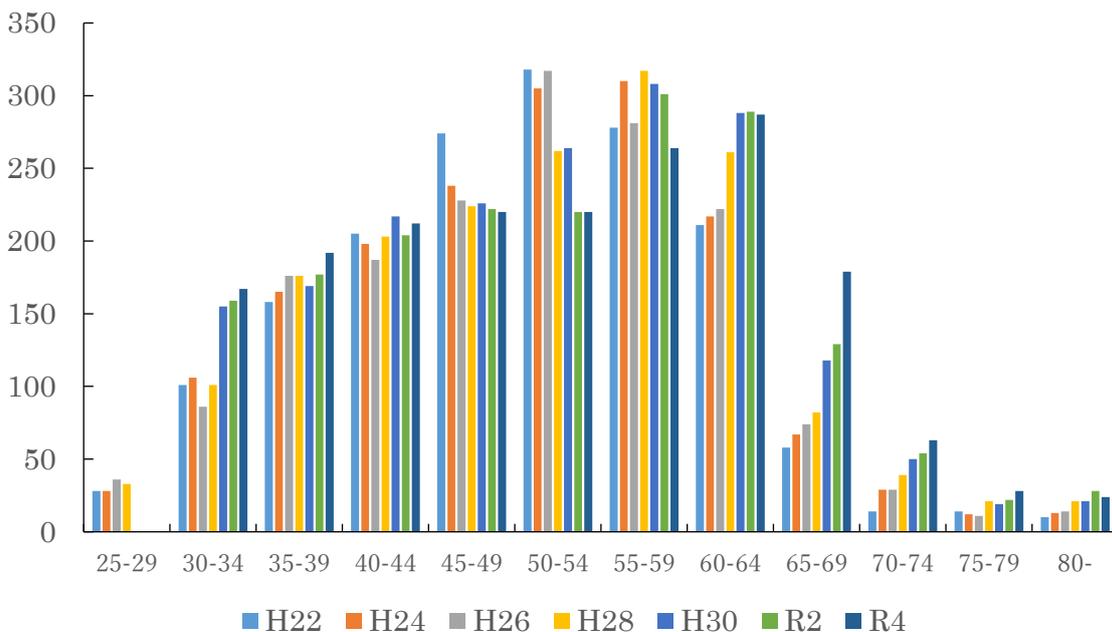


図2 年齢階級別の行政機関に従事する医師数（単位：名）

連続する2回の医師届出情報を比較すると、H22-H24、H24-H26、H26-H28、H28-H30、H30-R2、R2-R4で行政機関以外から行政機関に異動（入職）した医師数はそれぞれ336名、369名、426名、525名、473名、また、行政機関から行政機関以外の機関に異動（離職）した医師数はそれぞれ311名、364名、339名、397名、416名、398名であり、どの比較においても入職が離職を上回っていた（図3、表2）。

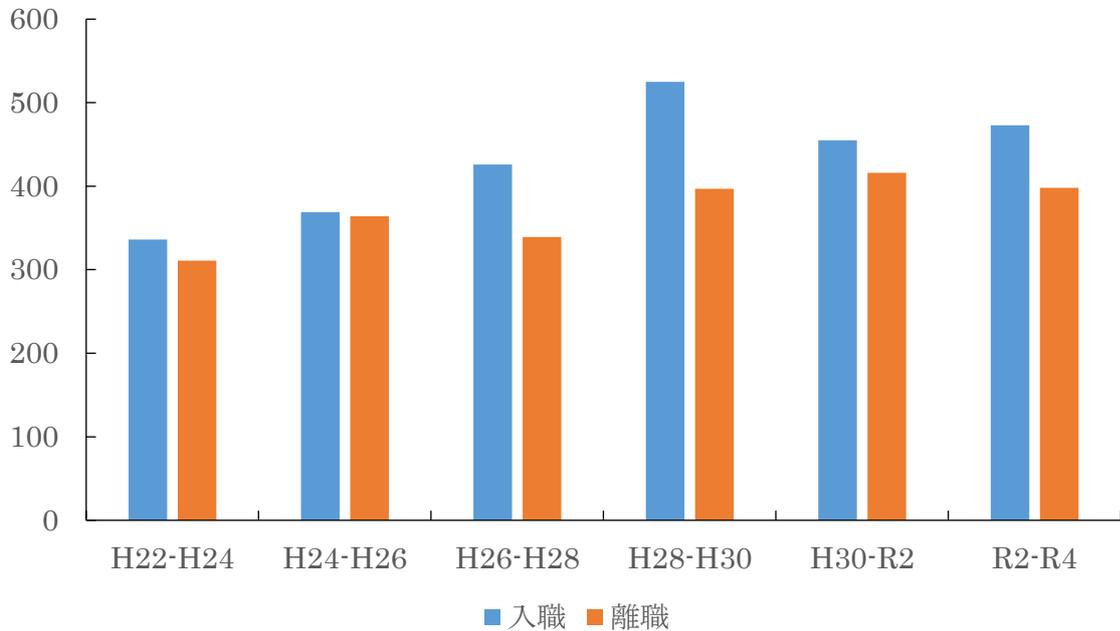


図3 連続する2回の医師届出情報における入離職数（単位：名）

入職した医師の年齢分布は、H26-H28までは30代後半をピークとするなだらかな単峰性に近い形であったが、以降は30代前半及び50代にピークのある二峰性を示していた（図4、表3）。

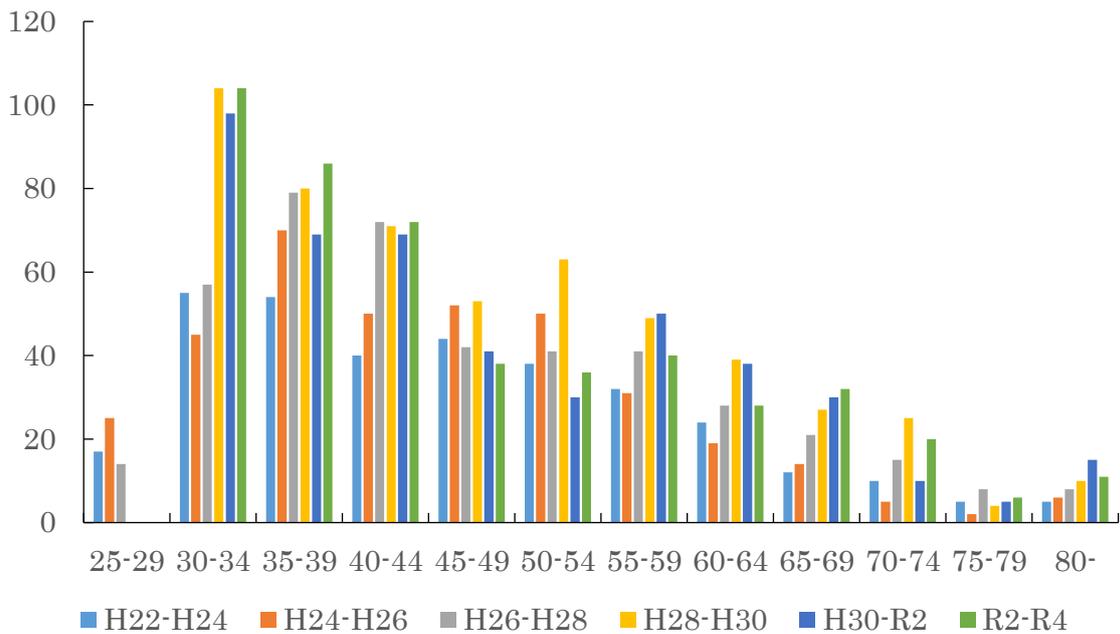


図4 各比較年における年齢階級別に入職した医師数（単位：名）

平成 22 年から令和 4 年までの全期間における入職した医師の年齢分布を男女別で比較すると、男性では 30 代に大きなピークと 50 代に小さなピークがあるのに対し、女性では 30 代から 40 代前半にかけてやや幅の広いピークがあり、また、50 代後半に小さなピークが見られた (図 5)。

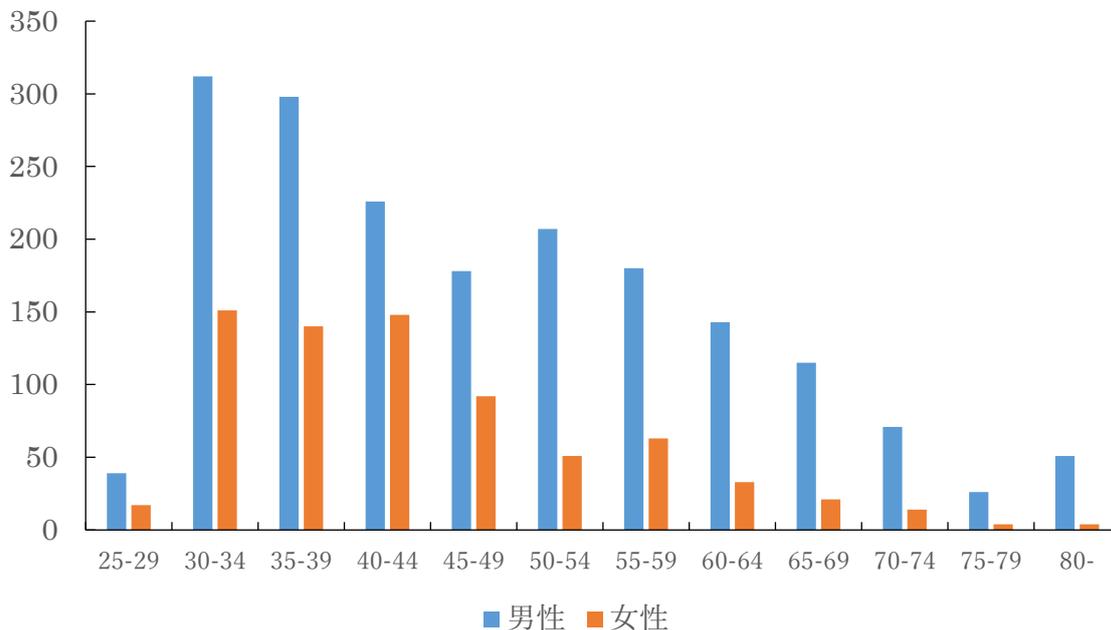


図 5 平成 22 年から令和 4 年までの全期間における男女別・年齢階級別の入職した医師数 (単位: 名)

行政機関から行政機関以外に異動 (離職) した医師の年齢分布を見ると、30 代後半と 60 代後半にピークのある M 字型を示していた。また、経年で比較すると、40 代後半及び 50 代後半における離職が増加していた (図 6、表 4)。

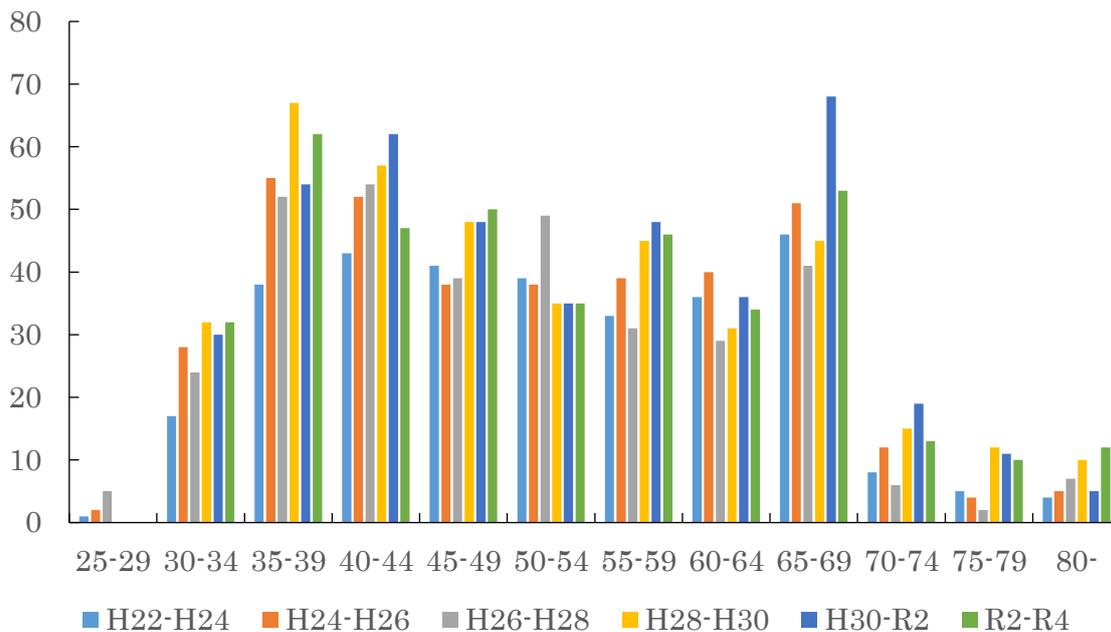


図 6 各比較年における年齢階級別の離職した医師数 (単位: 名)

平成 22 年から令和 4 年までの全期間における離職した医師の年齢分布を男女別で比較すると、男性では 30 代後半から 40 代前半が多く、40 代後半から 60 代前半までは概ね横ばいから緩やかに減少していたのに対して、女性では 30 代後半から 40 代後半にかけてなだらかなピークを形成し、50 代以降は概ね横ばいであった（図 7）。

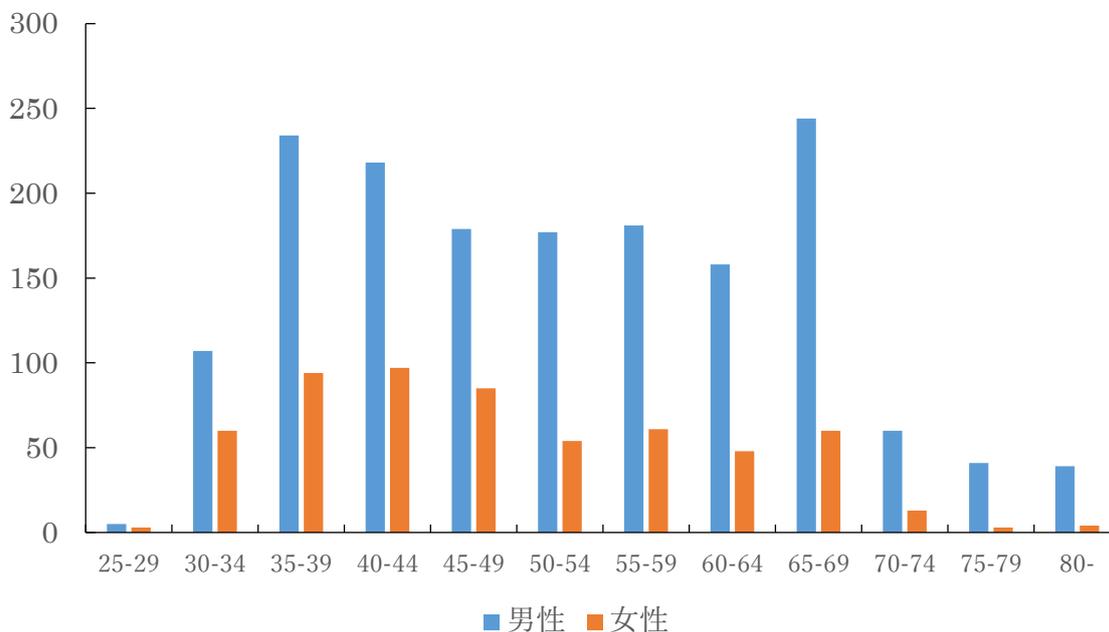


図 7 平成 22 年から令和 4 年までの全期間における男女別・年齢階級別の離職した医師数（単位：名）

#### 4) 考察

平成 22 年から令和 4 年までの医師届出情報によると行政機関に従事する医師数は増加傾向にあり、また、女性医師の割合が増えていることが確認できた。一方で、表 1 のとおり届出を行った医師全体に占める行政機関に従事する医師の割合は 0.53-0.57%とほぼ横ばいか若干低下傾向にあり、医師全体の増加を超えて行政機関に従事する医師が増えている状況までには至っていないことも明らかとなった。

今回利用した届出情報の期間においては、30 代の若い医師及び 60 代の医師が特に増加していた。入職時期のパターンを概ね平成 20 年代の前半と後半以降で比べると、後者では①30 代前半からの入職が増えていること、②40 代後半から 50 代前半の入職が減少傾向にあること、③50 代後半から 60 代にかけての入職が増えていることが観察された。より若い年代で入職することは、様々な行政経験を積む機会を得ることにつながり、好ましい傾向と考える。また、比較的年齢の高い医師が入職することは、事業等に臨床等での経験が活かされることが期待される一方で、行政に必要な知識や経験を踏まえた判断や決定に不慣れとなる可能性があり、特に一定の立場や役職に就くことが想定される場合には、入職後の研修の充実やサポート体制の整備が必要である。

また、入職時期を男女で比較すると、男性では 30 代前半にピークがあり、その後一旦減少し、50 代で再度増加するが、女性では 30 代から 40 代前半にかけて緩やかなピークを形成しており、その差異の理由としてキャリア、ポストやワーク・ライフ・バランス等が影響しているものと推察する。行政機関に従事する医師の確保に当たっては、男女で入職のタイミングや理由が異なる

ことを踏まえたリクルートメント活動を展開することが重要であると考え。

離職時期も入職時期と概ね似たパターンを示すが、入職に比べると離職の方が男女ともに年代による差（変化）が小さかった。行政機関に入職したものの、様々な理由により一定の期間のうちに離職する医師がいる一方で、定着している医師もいることが示唆される。

今回の分析では、連続する2回の医師届出情報を比較することにより入職、離職を判断し、その医師の数や性別、年齢による特徴等を調べるに止まった。連続する2回の届出情報のうち、1回しか従事先の種別が分からない医師（表2中のNA→行政機関、行政機関→NA）が比較の回ごとに300-400名程度いるので、入離職の正確な状況把握には限界があることに留意する必要があるが、大まかな傾向を捉えることはできたと考える。また、行政機関に従事する医師の確保や定着に向けた取組を検討するためには、入離職する医師だけでなく、行政機関で従事し続ける医師も含めたバックグラウンド（出身地、出身大学、診療科等）や入職から離職までの期間を把握することが必要であり、これらの点については、次年度の課題として取り組みたい。

## 5) まとめ

平成22年から令和4年までの7回分の医師届出情報を用いて行政機関に従事する医師の人数、基本的属性（性別、年齢）、入離職の状況を把握した。特に入職の動向は近年変化してきていること、また、男女によってもそのパターンが異なることが明らかになり、リクルートメント活動に有用な知見が得られた。今後は、行政機関で従事し続ける医師や入離職する医師のバックグラウンド等について詳細な分析を行い、行政機関に従事する医師の確保・定着に向けた取組の検討に活かせる基礎資料づくりを進めていく。

表 1 行政機関に従事する医師数（単位：名）

	H22	H24	H26	H28	H30	R02	R4
データ件数	295,049	303,268	311,205	319,480	327,210	339,623	343,275
行政機関に従事する医師数	1,669	1,688	1,661	1,740	1,835	1,805	1,856
(%)	(0.57)	(0.56)	(0.53)	(0.54)	(0.56)	(0.53)	(0.54)
性別							
男性	1,168	1,156	1,134	1,194	1,224	1,197	1,224
女性	501	532	527	546	611	608	632
年齢							
-29	28	28	36	33			
30-34	101	106	86	101	155	159	167
35-39	158	165	176	176	169	177	192
40-44	205	198	187	203	217	204	212
45-49	274	238	228	224	226	222	220
50-54	318	305	317	262	264	220	220
55-59	278	310	281	317	308	301	264
60-64	211	217	222	261	288	289	287
65-69	58	67	74	82	118	129	179
70-74	14	29	29	39	50	54	63
75-79	14	12	11	21	19	22	28
80-	10	13	14	21	21	28	24

表 2 連続する 2 回の医師届出情報の比較による異動状況（単位：名）

	H22-H24	H24-H26	H26-H28	H28-H30	H30-R2	R2-R4
行政機関→行政機関	1,205	1,160	1,175	1,173	1,209	1,232
行政機関以外→行政機関（入職）	336	369	426	525	455	473
行政機関→行政機関以外（離職）	311	364	339	397	416	398
NA→行政機関	147	132	139	137	141	151
行政機関→NA	153	164	147	170	210	175

※NA：届出情報なし

表 3 行政機関以外から行政機関に異動（入職）した医師数（単位：名）

	H22-H24	H24-H26	H26-H28	H28-H30	H30-R2	R2-R4
行政機関に従事する 医師数	1,688 (H24)	1,661 (H26)	1,740 (H28)	1,835 (H30)	1,805 (R2)	1,856 (R4)
行政機関以外から行 政機関に異動（入職） した医師数	336	369	426	525	455	473
(%)	(19.9)	(22.2)	(24.5)	(28.6)	(25.2)	(25.5)
性別						
男性	234	264	316	380	323	329
女性	102	105	110	145	132	144
年齢						
-29	17	24	14			
30-34	55	45	57	104	98	104
35-39	54	70	79	80	69	86
40-44	40	50	72	71	69	72
45-49	44	52	42	53	41	38
50-54	38	50	41	63	30	36
55-59	32	31	41	49	50	40
60-64	24	19	28	39	38	28
65-69	12	14	21	27	30	32
70-74	10	5	15	25	10	20
75-79	5	2	8	4	5	6
80-	5	6	8	10	15	11

表 4 行政機関から行政機関以外に異動（離職）した医師数（単位：名）

	H22-H24	H24-H26	H26-H28	H28-H30	H30-R2	R2-R4
行政機関に従事する 医師数	1,669 (H22)	1,688 (H24)	1,661 (H26)	1,740 (H28)	1,835 (H30)	1,805 (R2)
行政機関から行政機 関以外に異動（離職） した医師数	311	364	339	397	416	398
(%)	(18.6)	(21.6)	(24.5)	(20.4)	(22.7)	(22.0)
性別						
男性	237	272	247	304	313	270
女性	74	92	92	93	103	128
年齢						
-29	1	2	5			
30-34	17	28	24	32	30	36
35-39	38	55	52	67	54	62
40-44	43	52	54	57	62	47
45-49	41	38	39	48	48	50
50-54	39	38	49	35	35	35
55-59	33	39	31	45	48	46
60-64	36	40	29	31	36	34
65-69	46	51	41	45	68	53
70-74	8	12	6	15	19	13
75-79	5	4	2	12	11	10
80-	4	5	7	10	5	12